

## 第〇学年 学級活動（１）指導案例（細案）

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校（中学校）特別活動」を参照し、「1 議題」「5 本時について」は、A案及びB案の二つの例を示します。

日時 令和〇年〇月〇日（〇） 〇校時  
対象 〇年〇組 〇名  
指導者 〇〇 〇〇

- 1 議題 A案「(例) がんばったね集会をしよう」 B案「(例) よりよい学級生活をつくろう」  
学級活動（１）A案「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」  
B案「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」

議題及び「学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画」の内容を記述する。

【小学校及び中学校】

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

### 2 議題について

#### （１）児童生徒の実態

児童生徒の学級生活や学級活動における実態などを記述する。

#### （２）議題選定の理由

議題が設定された背景や教師の指導観などを記述する。

### 3 評価規準

各学校で定めた評価の観点に基づき設定する。議題ごとに設定するのではなく、内容のまとまりごとに評価できるように設定する。

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
例：～理解している。 ～身に付けている。	例：～見いだしている。 ～実践している。	例：～図ろうとしている。 ～取り組もうとしている。

4 指導と評価の計画

事前の指導・事後の指導を含む学習過程を工夫します。その際、児童生徒が見いだした課題について、意見の違いや多様な考えを認め合い、折り合いをつけ「合意形成」したことを実践し、振り返る活動を取り入れることが大切です。

過程	時間	児童生徒の活動	指導上の留意点	○目指す児童生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
事前の活動	「事前の活動」は、児童生徒の活動（アンケートやノート等の記入）や教師の事前準備等について記述する。			
	○月○日 ( ) 休み時間	・提案ポストの議題案を確認し、選定する。 (計画委員会) ※1	・議題選びの視点を念頭において選定することを指導する。	○「がんばったね集会」への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 (学級会ノート) ○友達のがんばりを認め合うことができる集会の内容を学級会ノートに書いている。 【思考・判断・表現】 (観察・学級会ノート)
○月○日 ( ) 帰りの会	・議題を決定する。 (学級全員)	・計画委員会で選定した議題案をもとに、学級全員で決定する。		
本時	○月○日 ( ) ○校時	・話し合い活動	・他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。	○多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。 【思考・判断・表現】 (発言・観察)
事後の活動	「事後の活動」は、児童生徒の活動や教師の支援について記述する。			
	○月○日 ( ) ~ ○月○日 ( ) 休み時間等	・係ごとに計画を立てて、協力して準備をする。 ・帰りの会などで係ごとに経過報告を行ったり、お知らせを伝えたりする。	・係は必ず複数名で担当し、全員で協力して活動できるようにする。 ・準備の進捗状況を途中で確認し活動意欲の継続化を図る。	○「がんばったね集会」のめあてを意識して、友達と協力して取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 (学級会ノート)
	○月○日 ( ) ○校時	・「がんばったね集会」を行う。	・集会のねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫して活動したりしている児童を称賛する。	
	○月○日 ( ) ○校時	・一連の活動を振り返る。	・自分の態度を振り返るとともにめあてに基づいた振り返りを行い、自分の役割を果たすことや友達のよかったところについても認められるように助言する。	○頑張ったね集会の成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 【主体的態度】 (学級会ノート・観察)
動	「目指す児童生徒の姿」には「内容のまとめりごとの評価規準」に即して、事前の活動・本時・事後の活動の一連の活動について、評価規準を具体的に記述する。その際、事前の活動・本時・事後の活動の中に、全ての評価の観点を適切に設定する。			

※1 計画委員会

話し合いに必要な一連の活動計画を立て運営するための組織です。司会、黒板記録、ノート記録等で組織されます。学級活動(1)は、児童生徒の自発的・自治的な実践活動が大切であることから、計画委員会による活動が重要になります。

一般的には、司会と記録(黒板・ノート)を「司会グループ」、それに提案者と教師を加えて「計画委員会」を組織します。なお、「計画委員会」のほか、「学級活動委員会」「学級委員会」等として組織する場合もあります。

5 本時について

**A案** 話し合いの順序を分かりやすく示した様式

(1) 本時のねらい（目指す児童生徒の姿）

「内容のまとまりごととの評価規準」に即して、本時で目指す児童生徒の姿を具体的に示す。各学校で定めた評価の観点に基づき設定する。

(例) 1年間の互いのがんばりを認め合う楽しい「がんばったね集会」にするために、集会の内容を考えることができるようにする。

(2) 本時の展開

主な活動内容	指導上の留意点	○目指す児童生徒の姿 【観点】 〈評価方法〉
<p><b>主な活動内容</b> 本時の活動の流れが分かるように記述する。</p> <p><b>指導上の留意点</b> 話し合い活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に記述する。 「～する児童生徒に対しては、～について～することで～できるようにする」等、児童生徒一人一人に応じた具体的な指導・支援が分かるように記述する。</p> <p><b>目指す児童生徒の姿</b> 本時のねらい（目指す児童生徒の姿）と整合した評価規準を具体的に記述する。「十分満足できる活動の状況」について、抽象的な文言ではなく、具体的に記述する。また、評価の場面は1、2箇所に絞る。</p>		
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 計画委員の自己紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由や話し合いのめあての確認</p> <p>5 決まっていることの確認</p> <p>6 話し合い 話し合うこと① 「何をするか。」</p> <p>話し合うこと② 「がんばりを認め合う工夫はどうするか。」</p> <p>話し合うこと③ 「どんな係が必要か。」</p> <p>7 決まったことの発表</p> <p>8 話し合いの振り返り</p> <p>9 先生からの話</p> <p>10 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。</li> <li>・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。</li> </ul> <p><b>話し合いのめあて</b> 「がんばったことを振り返ることができる集会の内容と工夫を考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決まっていることを確認する。</li> <li>① 日時…○月○日○時間目</li> <li>② 場所…教室</li> <li>③ ゲームで1つ、それ以外で1つ</li> <li>・司会が進行に困った時は方向性を示唆し、児童生徒の合意形成を方向付けるような助言はしない。</li> <li>・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、適切に助言する。</li> <li>・必要に応じて、自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えるなど、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。</li> <li>・これまでの集会の経験をもとに必要な係については事前に短冊を用意しておき、今回新たに必要な係について話し合う。</li> <li>・よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点などについて相互評価できるように助言する。</li> <li>・先生からの話（終末の助言）では、「①前回の話し合いと比べてよかった点、合意形成したことへの価値付けや称賛、②今後の課題、③計画委員へのねぎらい、④今後の見通しや実践に向けての意欲付け等」について簡潔に述べる。</li> <li>・提案理由を意識した発言や建設的な発言、意欲的に参加していた児童を称賛する。</li> <li>・実践への見通しをもち、意欲が高まるように言葉掛けを行う。</li> </ul>	<p>○これまでの集会活動の経験を生かしたり、友達の意見のよさを生かしたりして、「がんばったね集会」の内容や工夫について考えている。</p> <p>○みんなががんばったことを認め合う内容はどれがよいか根拠を明確にしながら発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。</p> <p style="text-align: right;"><b>【思考・判断・表現】</b> 〈発言・観察〉</p>

**B案** 話し合いの流れを児童生徒主体で段階ごとに示した様式

(1) 本時のねらい (目指す児童生徒の姿)

「内容のまとめりごとの評価規準」に即して、本時で目指す児童生徒の姿を具体的に示す。各学校で定めた評価の観点に基づき設定する。

- (例) ・互いの意見や可能性を生かし合った話し合い活動の仕方を身に付けている。  
 ・異なる意見から共通点を見だし合意形成に向け (個人として) 取り組んでいる。

(2) 本時の展開

段階	児童生徒の活動	○目指す児童生徒の姿 【観点】〈評価方法〉 ※指導上の留意点
導入 ○分	<p><b>児童生徒の活動</b>                      本時の活動の流れが分かるよう、児童生徒の立場で具体的に記述する。活動の具体、指導上の留意点、目指す児童生徒の姿の記入についてはA案を参照する。</p>	
展開 ○分	<p>1 ワークシート「よりよい学級生活をつくろう」を活用して自分が宿題で考えてきた学級目標を確認する。</p> <p>2 「よりよい学級生活をつくろう」を活用してグループで意見を出し合い、まとめる。                      ・自分が考えた学級目標を発表する。                      ・発表している人の考えを聞き、ポイントをメモする。                      ・グループとしての学級目標案を考える。</p> <p>3 全員で学級目標を決める。                      ・各班で決めた学級目標案を発表する。                      ・「よりよい学級生活をつくろう」を活用して、発表している人の考えを聞き、ポイントをメモする。                      ・学級委員が調整役を果たしながら合意形成に向けて練り合う。</p> <p>・折り合いを付け、学級目標を全員で合意形成する。                      ・合意形成した学級目標を確認する。</p>	<p>○互いの意見や可能性を生かし合った話し合い活動の仕方を身に付けている。                      【知識・技能】                      〈ワークシート〉</p> <p>○異なる意見から共通点を見だし合意形成に向け (個人として) 取り組んでいる。                      【思考・判断・表現】                      〈ワークシート、観察〉</p>
終末 ○分	<p>4 実践に向けて                      ・担任からの合意形成した過程や全員で決めた学級目標に対する思いを聞く。</p> <p>5 学級目標を実現するために (予告)                      「次の活動は、学級目標を踏まえて個人の1学期の目標を決めてもらいます。」 (担任)                      ・自己評価表を切り離し、担任に提出する。</p>	<p>※児童生徒の思いを大切にしながら、学校・学級として育てたい資質・能力についてもコメントする。</p>

6 板書計画